

第8回 C I S P R J電波雑音委員会 議事要録

1. 開催日時:2021年5月20日(木) 10:30~11:05
2. 開催場所:(一財)VCCI協会 5階 A会議室/オンライン会議
3. 出席者:(順不同、敬称略) 委員22名(委員長への議決委任5名を含む)
参加9名、事務局2名

<委員>

徳田委員長<東京大学大学院>	山下副委員長<一般財団法人 電気安全環境研究所>
上田委員<一般社団法人 インターホン工業会>	松山委員<一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター>
笠井委員<超音波工業会/高周波機械工業会>	三塚委員<一般財団法人 テレコムエンジニアリングセンター>
安江委員<電気事業連合会>	中森委員<一般社団法人 電子情報技術産業協会>
加藤委員<一般財団法人 電波技術協会>	上野委員<地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター>
浅見委員<一般社団法人 日本アミューズメント産業協会>	今泉委員<一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会>
高岡委員<一般社団法人 日本照明工業会>	前川委員<一般社団法人 日本電機工業会>
阿部委員<一般社団法人 日本配線システム工業会>	橋本委員<日本放送協会>
大浦委員<一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会>	土屋委員<一般社団法人 日本陸用内燃機関協会>
渡辺委員<一般財団法人 日本冷凍空調工業会>	川脇委員<一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会>
山下委員<株式会社 UL J a p a n>	堀 委員<一般財団法人 VCCI協会>

<欠席> 欠席委員1名

梶原委員<一般財団法人 日本品質保証機構>

<参加>

桑原 <経済産業省 製品安全課>	馬場 <経済産業省 製品安全課>
古川 <総務省 電波部電波環境課>	渡邊 <総務省 電波部電波環境課>
北島 <独立行政法人 製品評価技術基盤機構>	中野 <一般社団法人 日本電機工業会>
小林 <一般社団法人 日本電気協会>	
小田 <一般財団法人 VCCI協会>	平田 <一般財団法人 VCCI協会>

<事務局>

星野 <一般財団法人 VCCI協会> 村松(記)<一般財団法人 VCCI協会>

4. 配布資料:

資料0 第8回C I S P R J電波雑音委員会 議事次第
資料1 C I S P R J電波雑音委員会 委員名簿
資料2 令和2(2020)年度 C I S P R J電波雑音委員会 事業報告(案)
資料3 令和3(2021)年度 C I S P R J電波雑音委員会 事業計画(案)

5. 議事概要:

5-0: 経済産業省 桑原課長補佐 ご挨拶

桑原課長補佐より、昨年4月より前任者の遠藤様から交代となられたこと、及び本日の委員会

での有意義な議論を期待するとの挨拶がなされた。

5-1：開会

第8回C I S P R J電波雑音委員会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンライン会議での審議にて開催することとした。

本日の出席委員数について事務局より報告があった。出席委員数については、総数23名に対し、委員長を含む2名がVCCI協会への来協、オンラインでの出席15名、委員長への委任状提出5名を含む22名となっている。以上により、規約第9条にある全委員数の2/3（16名）以上の出席を充足しており、本委員会は成立していることが確認され、議事を進めた。

5-2：徳田委員長の挨拶

- ・徳田委員長ご挨拶の後、委員長が議長となり、審議に入った。

5-3：第一号議案 C I S P R J電波雑音委員会委員交代について（資料1）

- ・事務局より、資料1に基づきC I S P R J電波雑音委員会の委員交代について、一般社団法人インターホン工業会の諸田様から上田様へ、超音波工業会/高周波機械工業会の野本様から笠井様へ、電気事業連合会の村上様から安江様へ、一般社団法人日本配線システム工業会の高岡様から阿部様への委員交代の報告があり、承認された。

5-4：第二号議案

令和2（2020）年度 C I S P R J電波雑音委員会 事業報告（案）について（資料2）

- ・事務局より、資料2に基づき説明があり、承認された。

ア．令和2（2020）年度に開催した委員会における主な報告・審議内容

令和2（2020）年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、5月25日（月）から28日（木）に、書面審議にて1回開催した。

イ．総務省情報通信審議会答申について

“技術基準の解釈別表第十二 国際規格に準拠した基準の表2 雑音の強さに関する基準”に関わる総務省情報通信審議会答申については、新たな答申はなく、当委員会で整合規格案の審議はされなかった。

ウ．整合規格への採用について

既に整合規格に採用されているCISPRJ 15及びCISPRJ 32は、本年度の改正はなかった。また、本年度は、新たなCISPRJ規格の作成がなく、新たな整合規格への採用はなかった。

エ．委員会への団体の入退会について

本年度は、団体の入退会はなかった。

- ・資料2に対する意見などはなかった。

5-5：第三号議案

令和3（2021）年度 C I S P R J電波雑音委員会 事業計画（案）について（資料3）

- ・事務局より、資料3に基づき説明があり、承認された。

ア．委員会の活動として、C I S P R J電波雑音委員会は、年1回の開催を予定。

イ．令和3（2021）年度は、“技術基準の解釈別表第十二 国際規格に準拠した基準の表2 雑音の強さに関する基準”に関わる総務省情報通信審議会答申については、現時点では新たな答申の計画がなく、総務省情報通信審議会の審議状況を注視していく。

5-6:報告事項 1

解釈別表第十二に関わるC I S P R規格の発行・国内答申審議状況について（補足資料 1）

- ・事務局より、補足資料 1 に基づき、以下の説明がされた。
 - ア. 解釈別表第十二に関わるC I S P R規格の発行・国内答申審議状況として、令和 3（2021）年度の答申審議の会議体設立は、現在のところ予定はない。
- ・本資料説明の後に、総務省 古川電波監視官より、当面、C I S P R J 電波雑音委員会に係る答申の予定はないとのコメントがなされた。

5-7:報告事項 2

平成 29（2017）年度から令和 2（2020）年度 C I S P R J 電波雑音委員会のウェブサイト訪問件数 月別推移について（補足資料 2）

- ・事務局より、補足資料 2 に基づき、以下の説明がされた。
 - ア. 令和 2（2020）年度の当委員会ウェブサイト訪問件数は、1,129 件/月であった。これは、令和元（2019）年度比で 5 割増加している。増加している理由として、CISPRJ 規格の知名度が上がっていると思われる。
 - 令和 2（2020）年 11 月に J55013 と J55022 が廃止となっていることもあり、ウェブサイト訪問件数が増加したと思われるとのコメントがあった。

5-8:その他

- ・事務局より、C I S P R J 電波雑音委員会規格等への問い合わせについて、報告がされた。
 - ア. 2020 年度は、「電気照明及び類似機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法」CISPRJ 15:2017 に対する問い合わせが 1 件あった。これについては、（一社）日本照明工業会にて回答を作成頂き、問い合わせ者への回答を行った。その他の問い合わせはなかった。

5-9:閉会

以上で、第 8 回C I S P R J 電波雑音委員会を終了した。

－以 上－